

2023年6月15日

# YACかわら版 382

マヨン火山



Smithsonian Institution  
National Museum of Natural History  
Global Volcanism Program

標高 2462 m  
成層火山

位置情報 13.257,123.685

マヨン火山  
フィリピン

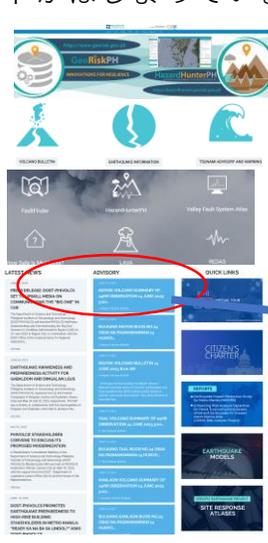
1616年に歴史的な噴火が記録されている非常に活発な成層火山

<https://volcano.si.edu/>

CNNフィリピンは6月11日、「フィリピン火山地震研究所(Phivolcs)は、土曜日に平均1,205トンの有害な二酸化硫黄を放出し、これは先週の金曜日の排出量の3倍であると報告した。…」。

マヨン火山活動活発化の報道でした。

世界各地で火山や地震や津波等のニュースでは、アメリカの地質調査所(USGS)が登場しています、イタリア関係では国立地球物理学火山学研究所(INGV)が有名です。フィリピンでは「フィリピン火山地震研究所」がこの分野の研究を担っています。次の画面からwebサイトがはじまっています



マヨン火山  
24時間観測要約  
(昨日午前5時~本日前5時)  
2023年6月14日  
警戒レベル3

MAYON VOLCANO  
Summary of 24hr Observations  
Alert Level 3

Parameters:  
7 volcanic earthquakes + 309  
Rockfall events + 7 Pyroclastic Density Current event  
Fair (naked eyes) very slight effusion of lava from the summit crater  
Sulfur Dioxide Flux: 149 tonnes / day (13 June 2023)  
Weak emission; general east drift  
Volcano edifice is inflated

パラメーター \*要素

地震 7 volcanic earthquakes + 309  
Rockfall events + 7 Pyroclastic Density Current event

火口の輝き Fair (naked eyes) very slight effusion of lava from the summit crater

二酸化硫黄量 140トン  
149 tonnes / day (13 June 2023)

噴煙 弱い  
Weak emission; general east drift

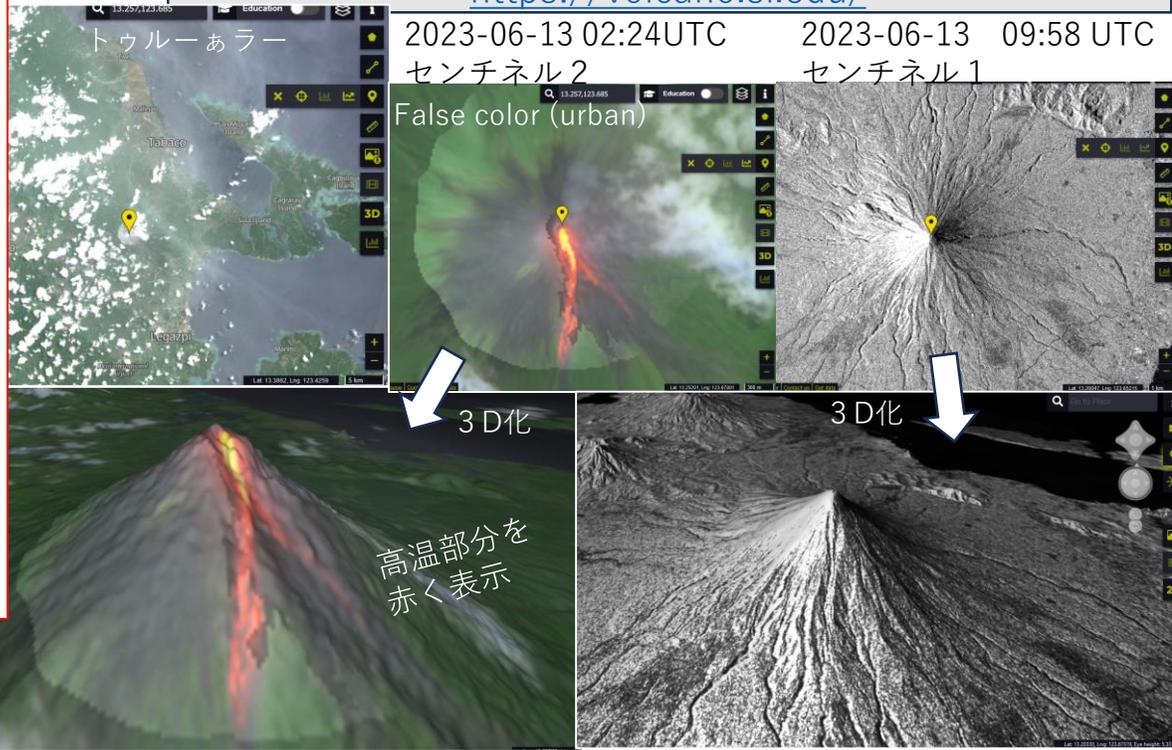
地面の変形 火山が膨張している  
Volcano edifice is inflated

火山活動観測の視座

鹿児島地方気象台によれば桜島の場合二酸化硫黄の放出量は、1,800~3,900トン/日で推移(2023年4月~5月20日)

[https://www.jma-net.go.jp/kagoshima/inf/monthly\\_doc/pdf/mon\\_vol\\_20230523.pdf](https://www.jma-net.go.jp/kagoshima/inf/monthly_doc/pdf/mon_vol_20230523.pdf)

「フィリピン火山地震研究所も活発になっている火山活動の概要を知らせるための的確な表示を用いています。



マヨン火山と同じように火山活動が活発になっているタール火山では、右のような表示もあります。火山活動の活発さを表現する表示の工夫は、大切な着眼点でしょうね。

pH Acidity Main Crater Lake

Temperature Main Crater Lake

<https://www.phivolcs.dost.gov.ph/>